

商船三井の主な航路

商船三井グループは現在、グループ全体で約900隻の船舶を運航しています。運航している船の種類は様々であり、鉄鋼原料、石炭、木材チップなどを運ぶ各種専用船(ドライバルク)、原油を運ぶタンカー、液化天然ガスを運ぶLNG船、自動車船、多種多様な製品を運ぶコンテナ船など、多彩な分野で時代の要請に応える総合海運企業です。



ドライバルク船

商船三井のドライバルク船は、鉄鉱石や石炭、穀物を初めとした、暮らしと産業を支える様々な資源を、積荷ごとの特性と、積み地及び揚げ地の状況を考慮して設計・建造された各種専用船で、日本はもとより世界各国へ安定輸送を行っています。小型から大型まで取り揃えたドライバルク船隊は、様々な顧客ニーズに柔軟に対応し、高品質の輸送サービスを提供しています。



油送船

商船三井は、VLCCを初めとする原油タンカー、大型～中型の石油製品(プロダクト)タンカー、メタノールを初めとする液体化学品(ケミカル)タンカー、石油ガス(LPG)タンカーなど、輸送貨物の特性に応じた多彩、かつ、世界最大級の充実したタンカー船隊を擁し、豊富な経験に裏打ちされた安全で効率的な液体貨物輸送のエキスパートとしてグローバルな活動を展開し、エネルギーの安定供給に貢献しています。





LNG船

LNGは環境にやさしいクリーンなエネルギーとして注目されており、今後需要の拡大が見込まれています。当社は、引き続きLNGの安全・安定輸送を維持し、日本はもとより中国、インド等新興国を含め世界各国のライフラインを担うLNG輸送のトップシェアラーとして今後も弛まぬ努力を行い、世界中の様々なプロジェクトへ積極的に取り組んでいきます。



自動車船

グローバル化が進展する自動車メーカーに的確に対応した、安全かつ安定的な輸送サービスを展開しています。最近では、日本に寄港しない海外と海外を結ぶサービスネットワークへのニーズも高まっており、45年余にわたる自動車輸送ノウハウと豊富な経験を駆使し、沿岸輸送等も含めた総合的な自動車輸送事業を展開しています。



コンテナ船

商船三井のコンテナ船サービスは、主要トレードである北米・欧州・アジアに加えて、当社が伝統的な強みを持ち、かつ経済発展著しい南米・アフリカ地域でも、高品質な輸送サービスを提供しています。さらに、中近東・インドへのサービスや世界各国を結ぶ三国間サービスを拡充し、多様化する顧客ニーズに対応しています。

